

令和5年度

上宮太子高等学校 入学試験問題

国語

(50分)

〔注意〕 次の(1)～(5)をよく読むこと。

注意事項

- (1) この問題冊子は、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題は、**1**から**3**まであります。印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、挙手して監督者に知らせなさい。
- (3) 解答用紙は、別に1枚あります。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- (4) 受験番号・名前は、問題冊子と解答用紙の両方に記入しなさい。
- (5) 「終了」の合図で、筆記用具を置きなさい。

受験番号				名前

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人間は、言葉でルールをつくっています。A、保育園では、「ねんねの時間ですよ」「一列に並びましょう」と言われて、子どもたちは眠くないけど眠らされ、並びたくはないけど並ぶ。小学校もそうです。「今日は朝礼があるから整列する」「教室に入ったら席につく」。こうした言葉による規則が先にあつて、自分がしたいことより、その規則を守ることが先決になります。会社のルールや法律など、すべて言葉によるルールです。

ゴリラの場合、何の挨拶もなしに2メートル以内に近づいたら、身体が「えっ、何かおかしいぞ」と反応します。この「2メートル」という距離も、ぼくが感じたことを言葉に④ホンヤクしただけで、実際の距離は状況によつて異なります。でも、その距離はその場にいればわかるし、ゴリラが何かを訴えてきていることもわかる。「何か興味があるものがぼくの周りにあるんだな」「ぼくと遊びたがっているんだな」「ぼくの隣に座りたがっているな」ということは、目を見ればわかります。何かいたずらをしようというときには、目がキラキラと光っています。ゴリラの行動や表情を受けて、ぼくは瞬間瞬間に理解し、どういう行動をとるかを判断します。こうしてぼくが身につけた彼らの「①行動文法」は、「こういう行動をしたからこうだ」「こういう表情をしたからこう」などと言葉だけで表すことはできません。

かつては、人間も、身体感覚でさまざまな問題を解決してきました。お互いの関係や環境は毎日変わります。こうすれば今日はこうなるということを直観で判断して互いの関係を調整していました。

ぼくが子どもの頃もそうでした。自然は日々変わるものだから、ぼくらも変わらざるを得ません。雨が降れば、太陽が出れば、遊ぶ場所も方法も変わります。その度に、友だちと顔を見合わせて、気持ちがつながっていることを確認しながら、互いの関係を調整していました。それは、ゴリラの社会にとっても近いものです。こういう子ども時代があつたからこそ、ぼくは、言葉では理解できないゴリラの群れに入ることができたのかもしれない。ゴリラの場合は、人間と表現の方法が近いから、余計わかりやすかつたのです。

ところが、今の人間社会は、不変のルールに従うことが日常生活になっていきます。言葉が先行しているから、身体が感じていることより言葉を信じる。ルールが合わなくなつたときにすぐに調整することができないために無理が生じます。

科学技術には良い面もあれば悪い面もあります。最初は良い面に注目が集まりますが、①ある域を超えると今度はネガティブな面が強調されていきます。ダイナマイトを考えてもそうでしょう。最初は人間の力が及ば②ない物を壊すために非常に役立つのに、それがやがて社会を破壊する戦争の道具に使われるようになります。言葉も同じです。

言葉は、人間が手にした技術の中で最初にして最大のものといつてよいと思います。人間の認知能力は、言葉の発明によって一度つくり変えられました。これが、「認知革命」と呼ばれるものです。かつて言葉は人々の間のトラブルを調整するための③コウショウにも使われていたはずだし、集団間の暴力を鎮めるためにも使われていたでしょう。だから人間は集団を④大きくすることができました。国家という巨大な組織をつくることもできたのも、言葉によって⑤バーチャルな世界をつくり、その物語を共有してみんながまとまれるようになったからです。ダイナマイトと同様、最初は言葉もよい作用をもたらしました。B、やがてその言葉が、暴力をつくり出すために使われるようになると、だんだん人間にとってネガティブな作用をし始めます。

言葉を発達させるうちに、文字も生まれました。最初は、石や木に書いていた文字を、紙に書くようになり、やがてそれを印刷するようになる。さらに技術が進み、⑥テレックスができ、⑦ファクスが生まれ、そして今、⑧ぼくたちはインターネットを通じて電子文字でつながるようになりました。

そもそも⑨文字を介した理解には、常に疑いがつきまといまいます。会って話していれば、発せられた言葉だけの意味ではなく、相手の顔の表情や仕草、⑩声色から裏の意味や背景を同時に感じるすることができます。相手の言葉を聞きながら、「⑪おそろく嘘を言っているな」とか「本気みたいだな」と思ったりするのは、人間は言葉を話しているとき、無意識のうちに関係を出すものであり、同時に相手の感情を読み取る能力をもっているからです。話し手は、相手の解釈が間違っていると感じたら訂正することができます。本来、言葉の役割が発揮される場所は、こうしたやり取りが可能な場面でした。

しかし、文字は読み手⑫本位のコミュニケーションツールであって、対話ではありません。書いた人はその場にいなくて、読み手の勝手な解釈が許されます。読み手本位であるために、ときに誤解を生んで書き手が思ってもいなかった結論になったりします。再現する過程で誤解が生じるのは当たり前で、それを避けることはできないのです。

※
ラインなどのSNSがあたかも対話しているかのような使われ方をしていますが、それは、あくまでシンボルを使った文字世界の延長です。④ラインを利用して人の中には、すぐに返事が来るから対話と同じような信頼関係をつくらせていると反論する人もいるかもしれませんが、その論理には二重の意味で誤解があります。

一つは、言葉は抽象化されたものだということ。誰かと話をしていても、それは出来事すべてを表しているわけではなく、出来事をいったん言葉という⑤抽象的なシンボルに集約してそれを再現しているだけのものです。実際には、言葉だけで相手の感情はわかりません。

もう一つは、文字化したり、肉声ではないものに変換してしまったりした場合、そこにさらに時間的な要素が加わるということです。言葉をお話すということは本来、瞬間の作業でもあります。対話を書き言葉にすると、Aさん「…」、Bさん「…」というように、時系列に並べられることとなりますが、実際は、相手が話しているとき、相手の言葉を聴きながら、自分が次に話すことを考えている。それは書き言葉では表現できません。文字は、相手の言葉を受けて考えた結果出てくるものではあるけれど、その瞬間に自分の胸の中に生じた感情とは違うものです。書き文字の行間を読み取ることはできても、実際に言葉を肉声をもって交わし合っている状況とは違うのです。そこにも⑤齟齬そごが生じます。

ぼくたちは、誰かに会いに行くときには、②フクソウや身だしなみを考えますね。相手によっては敬語も使う。そういうときの X は、身体からほとばしり出るものです。ところが、スマホで言葉を文字でやり取りするだけなら、礼儀も敬語もそれほど気にしなくてもいい。 C 相手によって変えることをしなくなります。相手が不特定多数であれば、ますます身構えがなくなっていくます。

さらに、顔も知らない相手から得た情報に対しては、勝手に想像ができる分、実際に会ったときに、文字の情報に裏切られるかもしれないし、それがコミュニケーションの足かせになるかもしれません。だから行き違いも起こるし、それがときに犯罪に結びつくこともある。言葉はもともと⑥緩衝材の役割を果たしていましたが、今は文字に引きずられて、行動を⑧誘発している。会って「殺してやる」と言われたなら、「バカやろー」と言い返せるし、取っ組み合って解消できることもある。殺すなどという行為はそうそう実現しません。でも、文字は、読み方次第でいくらでも想像が広がります。それが知らない相手であればなおさらでしょう。「殺される！」と恐怖で身がすくんでしまうかもしれません。

言葉を生み出し、文字を發明し、今、インターネットの世界を介して言葉をやり取りしているぼくたちは、こうした言葉の負の面にもあらためて目を向ける必要があるのではないでしょうか。

(山極寿一「スマホを捨てたい子どもたち」)

※「ネガティブ」……否定的、消極的。

※「バーチャル」……仮想。擬似的。実態を伴わない。

※「テレックス」「ファクス」……いずれも電話回線を用いて相手にメッセージや画像を送る通信手段。

※「ラインなどのSNS」……ソーシャルネットワークワーキングサービス。登録した利用者同士がインターネット上でコミュニケーションを取ることができるサービス。

問1 傍線部㉔㉕のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 傍線部㉖㉗の品詞名として最も適当なものを、それぞれ次のア～コから一つずつ選んで、記号で答えなさい。(ただし、同じ記号は使ってはならない)

ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 名詞 オ 副詞
カ 連体詞 キ 接続詞 ク 感動詞 ケ 助動詞 コ 助詞

問3 本文中の [A] [C] に入れるのに最も適当な言葉を、それぞれ次のア～オから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア だから イ あるいは ウ しかし エ ところで オ たとえば

問4 傍線部①「行動文法」とありますが、これを説明した次の文の [] にあてはまる内容を、漢字四字で抜き出して答えなさい。

・相手との関係や距離感にふさわしい行動を、 [] によって判断し、調整すること。

問5 傍線部②「文字を介した理解」とは、どのような理解の仕方のことですか。次の文にあてはまる内容を、本文中から九字で抜き出して答えなさい。

・ [] が許容され、書き手が思っていなかった結論にもなりうる理解の仕方。

問 6 傍線部③「本位」・⑤「齟齬」・⑥「緩衝材」の意味として最も適当なものを、次のア～エからそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

③ 「本位」

- ア 基本となる単位
- イ 元から存在するもの
- ウ 基本となるもの
- エ 最も重要なもの

⑤ 「齟齬」

- ア 食い違い
- イ 食べ合わせ
- ウ かみ合わせ
- エ かん違い

⑥ 「緩衝材」

- ア やわらかくて衝撃を吸収するもの
- イ ぶつかり合うもの同士の衝撃をやわらげるもの
- ウ ものとももの間に入って強く接着させるもの
- エ あたりさわりが無いように、物事をおさめるもの

問 7 傍線部④「ラインを利用して」の人は、すぐに返事が来るから対話と同じような信頼関係をつくらせていると反論する人もいるかもしれませんが、その論理には二重の意味で誤解があります」とありますが、すぐに返事が来るラインは対話とどのような点で違うと言えますか。二点に分けて説明しなさい。

問 8 本文中の X に入れるのに最も適当な言葉を、次のア～オから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 清潔感

イ 不安感

ウ 緊張感

エ 期待感

オ 連帯感

問9 本文の内容を読んだ後に、Aさん、B君、C君、Dさんが話し合いをしました。本文の内容にあてはまる意見には「○」、あてはまらない意見には「×」を付けなさい。

Aさん 「筆者は、人間もかつてはゴリラと同じように、直観でお互いにコミュニケーションを取っていたと述べているね。言葉がなくてもコミュニケーションは成立するんだね。」

B君 「でも、現代は言葉でルールが作られて、そのルールを守っているから、トラブルが起きないインターネット間のコミュニケーションが当たり前になっているね。」

C君 「実際に会って話すときは、相手の表情や声の調子から、ことばの意味の微妙な違いがわかるから、誤解やすれ違いは起こりにくいけれど、文字だとそうではないとも言っているよ。」

Dさん 「なるほど。だったら、文字を使ったコミュニケーションでも、なるべく詳しい説明を付け加えたり、絵文字を使ったりすれば、誤解やすれ違いは起こりにくくなるんじゃないかな。」

2 B組では、総合学習の時間に「やさしい日本語」をテーマに話し合っています。これを読んで、後の問いに答えなさい。(問題の都合上、カタカナで表記したところがあります。)

A君 先日、大きな地震があったときにテレビのニュースを見ていたら、「やさしい日本語」のニュースが流れてきたので、普通のニュースとどう違うのかを意識しながら見たよ。

B君 ぼくも見たよ。確か、漢字にはすべてふりがながふってあって、言葉も難しいものではなく、例えば「今後の余震に注意してください」という内容は、「I」という表現になっていたよ。

Cさん どうして「やさしい日本語」が使われるのかしら。

Dさん そういえば、私の家の近くにタイから日本にやってきたご夫婦がいらっしやるんだけど、地震のあとに町内の人

B君 が無事かどうか訪ねたときに、「聞き取りやすいニュースがあつて助かった」と言っていたのを聞いたわ。

なるほど。たしかに最近では国際化も進んでいるし、日本には大勢の外国人が暮らしているよね。そういった人には、地震速報などは難しくて聞き取りにくい言葉も多いのかもしれないね。

A君 実際には、どれだけの外国人が日本に暮らしているんだろう。

問1 I に入れるのに最も適当な言葉を、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

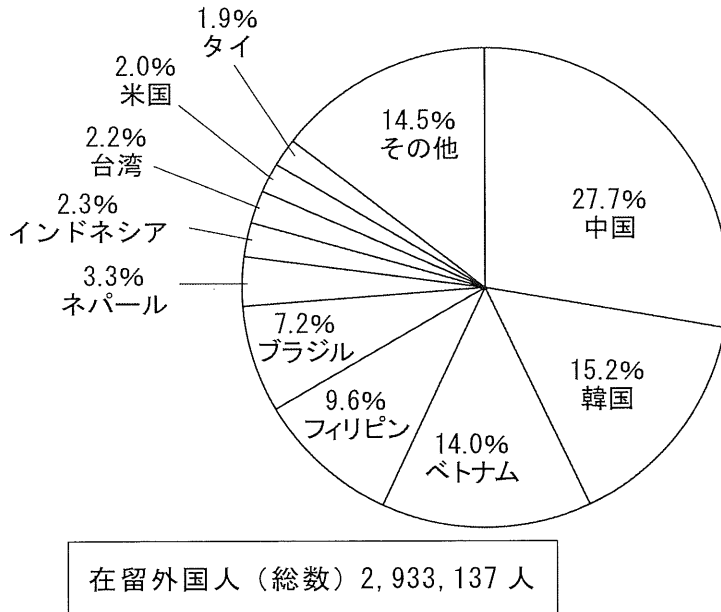
ア 今後こんごもくる余震よしんにお気きをつつけください

イ このあとにくる地震じしんに気きをつけてください

ウ 今後こんごも地震じしんがつづく可能性かのうせいが高たかくあります

エ 地震じしんとは地面じめんがぐらぐらと揺ゆれることです

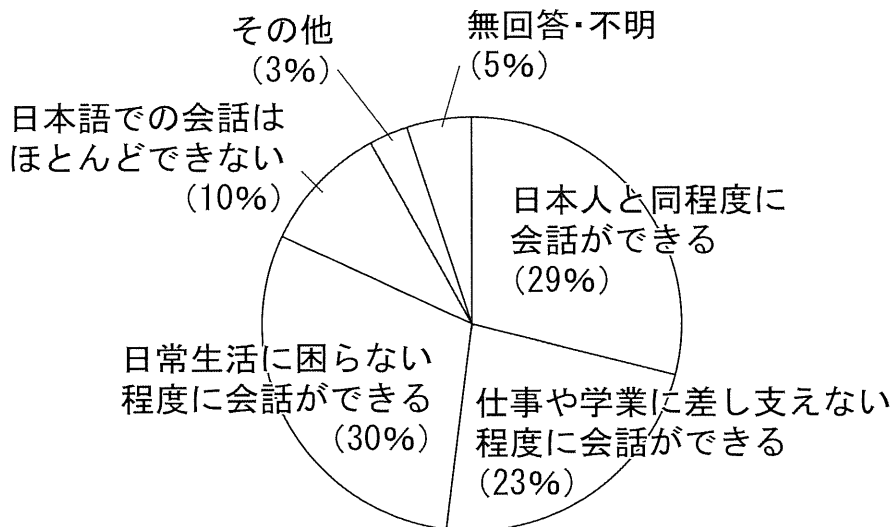
【資料 1】 在留外国人の国別内訳



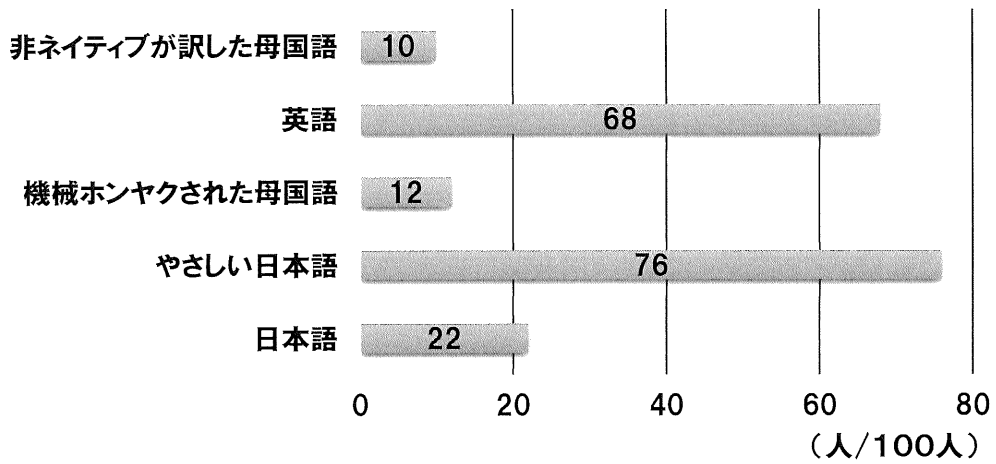
2019（令和元）年12月末現在

（ここで、資料1、資料2、資料3が配布される。）

【資料 2】 外国人の日本語での会話力



【資料3】外国人が希望する情報発信言語



※非ネイティブ……その言語を母国語としない人。

出典：出入国在留管理庁・文化庁

「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」

A 君 【資料1】【資料2】を見ると、多くの外国人が日本に住んでいて、その人たちの II は日常生活を過ごすの

には困らない程度に日本語ができるんだね。

C さん 想像していたよりもたくさんの方が日本語を使えるのね。でも、生活に困らない程度というのは、どの程度のことなのかしら。

D さん さつき話をしたタイからのご夫婦とは私もよく話をするけれども、買い物や近所付き合いには困らないみたいよ。引越して来たときの役所の手続きが一番大変だったって言っていたわ。

B 君 確かに、役所の書類は日本人にとっても難しい言葉が多くて意味を取り違えたりするし、独特の意味で使われていて、すごく大変だって僕の母も言っていたな。

A 君 なるほど。【資料3】で、ホンヤクされた母国語や英語ではなくて「やさしい日本語」の希望が一番多いのも、そういった理由があるからかもしれないね。

(ここで、先生がプリントを配布する。)

総合学習 「やさしい日本語」で書いてみよう！

・例 税金 ↓ 国や県、区、市などにはらうお金。

① 予防接種 ↓ (病気にならないための注射。)

② 防災訓練 ↓ (災害が起きた時のための、安全に逃げる練習や、火を消す練習。)

・例 必ず印鑑をご持参ください。 ↓ かならずはんこを持ってきてください。

③ 落下物に注意し、周りの状況に気をつけましょう。 ↓ (落ちてくる物に気をつけてください。周りをよく見てください。)

④ できるだけ公共交通機関を使って、ご来場ください。 ↓ ()

問2 プリント中の④の()に入る「やさしい日本語」を考えて答えなさい。

Cさん うわあ、生活に関する言葉って、意識したことがなかったけれど、難しい言葉がたくさん使われているね。

A君 話し言葉では、相手の様子を見ながら言い直したり情報を追加したりできるけど、III になってしまいう書き言葉では、そうはいかないね。

Cさん そうね。だからこそ、多くの人が見たり訪れたりすると考えられる場所では「やさしい日本語」が必要になるのね。

A君 正直言うと、ぼくは授業やテストも「やさしい日本語」のものを受けたいよ……。外国人でなくても、日本語を使うすべての人がそう思うんじゃないかな。小さい子どもやお年寄りも、長々と書かれた文章を読むのはしんどいだろうしね。

Dさん そうか、わかったわ！ この「やさしい日本語」は「易しい日本語」でもあり、「優しい日本語」でもある必要があるんだわ。つまり、情報を発信するときに「やさしい日本語」を使うということは「易しく」するだけじゃなく、

【 という「優しさ」が必要だということなんだわ。

B君 なるほど、「やさしい日本語」を必要としているのは外国人に限らないし、使えば「優しさ」を表現できるんだね。それを念頭に置きながら「やさしい日本語」の作り方をまとめてみようか。

問3 生徒たちの会話中にあるII・IIIに入る言葉として最も適当なものほどれだと思われませんか。IIは次の〈一

群〉ア〜エから、IIIは次の〈二群〉カ〜ケからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

〈一群〉

ア 二割 イ 四割 ウ 六割 エ 八割

〈二群〉

カ 日本文化の伝統継承の要
ク 円滑なコミュニケーションの基礎
キ 外国人労働者にとっての障害
ケ 一方通行の情報発信

問4 傍線部「多くの人が見たり訪れたりすると考えられる場所」の具体例にあてはまらないものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 地域の商店街や個人商店
- イ 官公庁や役所
- ウ 災害時の避難所や病院
- エ バスターミナルや鉄道の駅

問5 「 」には、Dさんが気づいた「やさしい日本語」を使って示せる「優しさ」の内容が入ります。その内容を考えて、三十字程度で答えなさい。

問6 話し合いの内容をふまえて、メンバーは「やさしい日本語」の作り方のリーフレットを作成することになりました。次の(①)～(③)にあてはまる言葉を、下のア～クからそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

「やさしい日本語」の作り方

ステップ1 情報を整理する



伝えたいことを整理し、情報を(①)する。
読み手にとって必要な情報に絞る。

ステップ2 表現をわかりやすくする



一文を短くする。
回りくどい言い方や不要なくり返しはしない。
(②)は原語と意味や発音が異なるものが多いため、できる限り使わない。
二重否定、受身形や使役表現をできる限り使わない。

ステップ3 (③)をわかりやすくする



漢字の量に注意し、ふりがなをつける。
画数の多い漢字はひらがなに変える。

- ア アップデート
- イ イラスト
- ウ 取捨選択
- エ 外来語
- オ 略語
- カ カタカナ
- キ 表記
- ク 多様化

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

むかし、※ほうくわうじさいしやうをんじ報光寺最勝園寺二代の相州さうしゅうにつかへて、※ひきつけ にんじゆ つら引付の人数に列なりける、あせと青砥左衛門といふ者あり。ある時この青

砥左衛門、夜にいりて※しゆつし出仕しけるに、いつも※ひうちかぶつ燧袋にいれてもちたる錢を、十文ばかりとりはづして、なめりがわ滑川へぞおと落しける。

わづか錢十文の事なれば、うちすててもとおるべきに、もつての外に④あわてて、そのほとりの町屋まちやへ人をはしらかし、（走らせて）

錢五十文を以て※たいまつ続松を十把かいもとめて、すなわちこれをとぼして、つゝに十文の錢をぞ、たづね得たり。のちに人これ（五十文を支払いたいまつを十束買ひ求めて）

をき聞て、「十文の錢をもとめゑんがために、五十にて続松をかいて、ともしけるは、①まことにしやうりたいてん小利大損かな」と②わ

らひければ、（私をこのように批判するのは）青砥左衛門②まゆをひそめて、いひけるは、「さればこそ、われをかくそしめるは、（世の中が弱ること）世のついでを知らず、民

をめぐむ心なき人の③いふ事也、おとしたる十文の錢を、ただいまたづねもとめずんば、滑川のそこにながれしつみて、

ながくうせぬべし、それがしが続松をかわせたる五十の錢は、あきんど商人の家にとどまりて、ながく失うすべからず、わが損は③商

（永久になくなつただろう）

人の利なり。かれとわれと、なんのしやべつかある、④かれこれ六十文の錢一文をもうしなわず、あに天下の利にあらず（違い）

や」と㊦いへり。

(「理屈物語」)

※「報光寺最勝園寺二代の相州」……鎌倉幕府八代執権の北条時宗と、九代執権の貞時のこと。

※「引付」……鎌倉幕府での役職の名前。

※「出仕」……勤めに出ること。

※「燧袋」……火をつけるための道具を入れた袋。

※「続松」……たいまつ松明。木切れなどに火をつけた、手持ちの明かり。

問1 二重傍線部㊥㊦の主語は誰ですか。最も適当なものを、それぞれ次のア～エから一つずつ選んで、記号で答えなさい。(ただし、同じ記号を二度用いても良い。)

ア 青砥左衛門 イ 話を聞いた人 ウ 商人 エ 民をめぐむ心なき人

問2 傍線部①「まことに小利大損かな」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 本当にわずかな利益しか出ないのに、大金を使って馬鹿なことをするものだ。

イ まったくもって、小さな利益にこだわって大損をすることよ。

ウ 真実とは、目の前の利益が少なくなっても、結果大損まではしないということだ。

エ 一体どうして、そんなわずかな利益のために大金を払うことができようか、いやできまい。

問3 傍線部②「まゆをひそめて」の意味として最も適当なものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 激怒して イ 驚きあやしんで
ウ 馬鹿にして エ 顔をしかめて

問4 傍線部③「商人の利」とは具体的に何ですか。本文中から十二字で抜き出して答えなさい。

問5 傍線部④「かれこれ六十文の銭一文をもうしなわず」とありますが、なぜそう言えるのですか。その理由をわかりやすく説明しなさい。

問6 この話から、どのような教えが得られますか。正しいものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 昔から人情に厚い人は最終的に得をすると言われてきたが、町屋全体の人を家族のように扱うような大人物はなかなかいないということ。

イ ほんの少しの気遣いで多くの人の命が救えるのだから、十文という少額の錢でも無駄にせず、最後まで使い切るのが良いということ。

ウ 取るに足らないような小さなことでも、粗末にすることなく大切にするのは、長い目で見れば、世の中のためになるということ。

エ 高い代償を払うことになるうとも、たいまつのように足元を明るく照らして先行きがはっきりわかる策を取るこ
とが成功につながるということ。

問7 本文の内容と合っているものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 青砥左衛門は、十銭を落としたことに動揺し、周囲の家の人々を起こして、総出で十銭を探させた。

イ 青砥左衛門の間抜けと思われる行動は、分別のない人にはその真意が理解できなかった。

ウ 青砥左衛門の行動は商人にとってはありがたい話であり、今後このような人が増えることを願っている。

エ 青砥左衛門にとっては十銭も大金であり、そのために必死になったことはとがめられることではない。

